

校長室より

□社会で活躍する通信制課程卒業生

時折「実は私も通信制で学びました」と、社会の方が私に声をかけてくださることがあります。快く掲載を承諾していただきました次のお二人を紹介します。

一人目は、本校の数学科教員 ^{すがはらたくろう}菅原卓朗さんです。本校の前身、松江北高校通信制課程のご卒業で、大学、大学院と進み、教員になられて今年で5年目を迎えられました。今春の異動で本校通信制勤務となり、今年度は数学Iと数学Aを担当、7Dルームの担任です。数学だけでなく、IT関係も詳しい方です。優しい笑顔と穏やかな性格でとても話しやすい雰囲気をお持ちです。「高校時代の先生に親切にさせていただいたことが教員を志望するきっかけになりました」。本校通信制の勤務が決まった時、「ご縁を感じ、大変うれしく思った」そうです。お話をしていると「自分自身が不登校だったことや通信制高校で経験してきたことを踏まえて生徒のみなさんにアドバイスをしていきたい」と熱い思いも溢れます。「相談したいことがあれば気軽に声をかけて欲しい」とのこと。数学のこと、進路のこと、IT関係のことなどに興味や関心がある方は、菅原先生に話しかけてみましょう。



二人目は、松江警察署地域課地域係主任 来待駐在所 ^{なむらあきひろ}中村明博巡查長さんです。本校支援の会議や学校行事に出席していただいております。気さくで優しいお人柄です。中村さんも松江北高校通信制課程の卒業生。「実は全日制高校を退学した後、10以上の仕事を経験しました」。民間企業で働いているときに北通に入学し、卒業したのは25歳。卒業年次に担任の先生から進学を勧められたそうですが、たまたま担任の隣に座っていた先生から「警察官はどう？募集があるよ」と教えられ、体力には自信があったので「これだ」と思ったそうです。26歳で警察官に採用され、出雲市駅前交番、隠岐東部駐在所を経て現在の来待駐在所で3年目。「子どもたちや青少年を見守り、支える仕事がしたい」との強い思いは、今もこれからも変わらない。「遠回りしてもたどり着ける自分の道がある、今振り返ってみてそう思います」との言葉に説得力がありました。「警察官になりたい方がいらっしゃったら、喜んで相談に乗りますよ」とうれしいメッセージをいただきました。



さて、「宍道高校キャリアガイダンス 卒業生講話」が、6月25日(火)12:50~14:30、本校体育館で行われます。5人の定時制・通信制の卒業生から就職・進学の体験談を聞くことができる絶好の機会です。毎年、卒業生は後輩に向けて真剣に話をしてくれますし、在校生も熱心に話を聞いています。私自身とても楽しみにしています。一緒に話を聞いてみませんか。何か良いことが始まる予感がします。

編 | 集 | 後 | 記

全くの私事だが、つい最近引っ越しをした。未だ引っ越し荷物が片付いておらず、必要なモノが発生すると段ボールを開けるといふ状況である。先日は麦茶用のヤカンを発掘した。テンヤワンヤであるが、これまでの経験からすると三ヶ月もすれば大体のモノの収まりがつく。

「生活する場所の変化」ということは大きな変化ではあるのだけれど、案外対応できてしまうものだ。私たちは変化を怖がったり、焦って対応しようとしてしまいがちであるけれど、「まあポチポチやっついこう」と大らかな気分でした方がいいのかもしれない。

そんな気分していると、色々なコトがちょっとだけ楽である。ただそんな気分であるからか、未だにお気に入りの卓上カレンダーが出てこない。